



## Amir Tsarfati

### 2021年3月10日 中東時事アップデート

—アラビア半島で激化するシーア派とスンニ派の戦争—

シャローム皆さん、アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤにあるオフィスからライブです。この非常に特別な中東のアップデートを、ライブ配信出来て、ワクワクしています。この近隣、特にアラビア半島では物事が急速にエスカレートしていて、まさに今日は、それについてお話しします。しかし、その前にお祈りをしましょう。

お父様、あなたがすべてを担っておられ、心から感謝します。あなたは最初から終わりを知っておられ、あなたは預言者によって、あなたの御言葉を通してあなたの子供たちに、あなたのご計画を明らかにされました。そして、お父様、あなたは、あなたの子供が迷い出たり、混乱したり、何より恐れる事なく何が起きているのかを認識し、準備する事を望んでおられます。ですからあなたに感謝し、あなたを祝福して、イスラエルの聖なる方、イエシュア・ハマシアハの御名によってお祈りします。アーメン。

改めて、皆さんシャローム！ガリラヤより、アミール・ツアルファティです。この特別な中東のアップデートに超ワクワクしています。皆さん、物事は非常に速く動いていて、信じられないほどです。さて、始める前に、皆さんに私の声が聞こえているか、私が見えているか確認したいと思います。世界のさまざまな地域から多くの方が見えます。アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドから、また、ノルウェー、ヨーロッパの他の地域から、デンマークからも、ロードアイランドも、カナダ、ニュージーランドのオークランド、ペンシルベニア州からも。素晴らしいです。

では、ニュース速報から始めたいと思います。皆さん、約6.5時間前に私が配信した短いFacebookのライブをご覧になった方は、すでにご存知でしょう。ベンジャミン・ネタニヤフ首相がスケジュールを取り消して、過密スケジュールです。彼は毎日、各地での選挙集会に走り回って、13日後にある選挙の勝利に備えています。しかし、彼はこの24時間、明日のスケジュールを空けるよう、彼のアドバイザー全員に言いました。間もなく、彼は未公開の目的地に向けて発つ為です。しかし私が収集した情報から、高い確率で彼は明日、アラブ首長国連邦の指導者と会うために、アラブ首長国連邦に飛ぶようです。ここで大きなことは、おそらく、サウジアラビアの皇太子モハメド・ベン・サルマンとの会談が持たれるようで、そのすべては、基本的に、アラビア半島で起こっている嵐のためです。それについて、この後お話しします。という事で、ニュース速報です。ベンジャミン・ネタニヤフ首相が、彼の選挙運動を中断、明日の彼のスケジュールを変更して、アラブ首長国連邦に直行します。現在、サウジアラビア王国のナンバー2、ムハンマド・ビン・サルマンとの会談に向けてハイレベルの交渉が行われています。テレグラムを見ている方には、すでに数日前にお伝えしていますが、イスラエルとサウジアラビアの間で何かが起こりつつあります。さて、これが大使や大使館の交換や、そういった和平協定の話なのかどうか私には分かりません。それには、少し遅すぎたかも知れませんが、たぶん彼らは、その列車を逃したでしょう。しかし何かが防衛同盟の形で行われるでしょう。それは間違いなく、中東で形作られています。そして、そのすべては私達全員が目に見えている、イランが現在やっている事の為です。

さて、もう一つ言わせてください。現在の米政権の裏切りした後、サウジアラビアの皇太子は非常に励まされる訪問や電話を、いくつか受けました。ロシアのセルゲイ・ラブロフ外相は本日、皇太子を訪問し、インドのナレンドラ・モディ首相が、今日、電話をかけて、そしてスーダンの首相も、今日、訪問しています。

非常に興味深いのは、それらの国の間に線を引いてみると、イスラエルが背景のどこかにいる事が分かります。非常に興味深い事に、聖書的に私達が聞いているのは、必ずしも、イスラエルとサウジアラビアの間の和平合意ではなく、間違いなく非常に密接な関係です。それについては最後に話します。いいですね?しかし、ベンジャミン・ネタニヤフ首相が、明日、アラブ首長国連邦を訪問する予定です。そして、その国の最高指導者だけでなく、非常に高い可能性でサウジアラビアの皇太子モハメド・ビン・サルマンとも会うでしょう。首相は、実際、アラブ首長国連邦に向かう途中、サウジアラビアに立ち寄るかもしれないと示唆する人もいます。ムハンマド・ビン・サルマンとの会談のためです。これまでのところ、イスラエルのサウジアラビアとの和平を妨げたのは、モハメド・ビン・サルマンではなく、彼の父、サルマン王です。彼は古い考えの人で、彼はパレスチナ人と彼の国に住む10~15%のシーア派イスラム教徒を何らかの形で怒らせることを恐れています。ですから、古い世代に属するサルマン王は、イスラエルとの平和に「否」と言いましたが、しかし、彼の息子であるムハンマド・ビン・サルマンは状況を読むことが出来、ここで起こっている事が見えています。彼には、周りの他の国が読める事を読むことができます。

少し前に、私はここで報告しましたが、5ヶ月の内にイスラエルとアラブ首長国連邦の間の貿易は、エジプトとヨルダンを組み合わせたものを上回りました。それで、エジプト人の目が開かれて、エジプト人は気づいたのです。書面上では、彼らはイスラエルと平和がありますが、しかし、彼らは本当にそれを最大限に活用してません。友好的な平和ではなく、非常に冷めた平和だったのです。一つお伝えすると、エジプト人は、サダトが暗殺された後、ホスニ・ムバラクがアンワル・サダトに取って代わったとき、彼がやりたかったことの一つは、ほら、イスラエルとの平和の為にサダトが暗殺された事を、彼は認識しましたから、ホスニ・ムバラクは強い男になりたくて、彼は言ったのです。「いいか。我々はテルアビブとカイロ間の毎日のフライトを開始する、しかし、我々はエジプトのフラッグ・キャリア、エジプト航空の飛行機をテルアビブに着陸させるつもりはない。我々は我々の飛行機の尾翼についているエジプトの旗を、その国では表示しない」



それは、エジプトの女王ネフェルティティの名にちなんで、「ネフェルティティ」と呼ばれる航空会社から始まって、

だから、冷めた平和があって、彼らはほとんど恩恵を受けることが無かったです。それが非常に興味深い事に、アラブ首長国連邦が数ヶ月前に始まった平和でどれだけ恩恵を受けているかを見て、エジプト人は目を覚まして現実を見ました。「我々は、隣人同志で、1979年以来平和がある。なのになぜ、我々は、それを楽しんでいないのか?」そこで、非常に興味深いことを皆さんにお見せしましょう。まず第一に、1週間前…1週間前です。ところで、ホスニ・ムバラクは言いました。「我々は、エジプト国旗を掲げない航空会社を始める。」それは、エジプトの女王ネフェルティティの名にちなんで、「ネフェルティティ」と呼ばれる航空会社から始

まって、その航空会社はすぐに存在を消し、別の航空会社が置き換えられました。さて、非常にミステリアスな航空会社エアシナイが、テルアビブとカイロ間でのみ、就航されました。エアシナイは、ただの白い飛行機で、つまり、彼らはイスラエルへの飛行機に一切旗を付けたくないのです。それが画面の左上部です。それがエアシナイの航空機、対して下はエジプト航空の航空機です。はっきりと見ての通り、下のエジプト航空の尾翼にはエジプトの旗があります。



それが、画面の左上部です。



なぜ私は、こんな話をしているのか?そのワケはこれです。エジプト航空は、イスラエルに1日3回、週21便のフライトを決定し、そして、このミステリアスなエアシナイに終止符を打ったのです。それが先週の事で、昨日はシナイのシャルム・エル・シェイクで、イスラエルとエジプトの代表団は、長年ぶりに会談し、彼らが何を話

していたと思いますか?ようやく彼らは農業について、水の淡水化について、電気、繊維、魚の養殖、建設材料について話し合い、彼らは非常に多く事について話し合いました。ようやくエジプト人は気づいたのです。「我々はイスラ



それが先週の事で、昨日は、シナイのシャルム・エル・シェイクで、イスラエルとエジプトの代表団は、長年ぶりに会談し、

エル人と会うことができる。取引をし、良いビジネスを行うことができるのだから、それをしようじゃないか！」さて、彼らが私達に向けた冷遇は、すべてパレスチナ人をなだめるのです。「見なさい。パレスチナの人達、我々はイスラエルとの平和があります。しかし私達は、まず彼らがあなたの望むものを全てあなたに与えるように確認しよう。それから、私達はイスラエル人との関係を温める」さて、今は、彼らは気付きました。「我々は、もう、こんなパレスチナ人を待つつもりはない。パレスチナ人が何と言おうと、我々は、イスラエル人との関係を深める」これは、ベンジャミン・ネタニヤフの政策にとって大勝利です。彼はいつも言います。「強さを通しての平和」「私達は、諸国の前にひざまずかない」彼らが私達の所に来て、彼らが私達と関係を望み、彼らが私達とのビジネスを望むのです。私達が強く、私達が革新的で、技術的に進歩



して、軍事的に進歩している為、私達の軍事情報、サイバーセキュリティ、医学、農業の為、その為に、彼らは、私達と平和を持ちたいのです。彼らが私達の願いを聞いているのではなく、私達が、実際に彼らの願いを聞いているのです。というか、それは相互関係です。だから、非常に興味深い事を目にしています。事実、Foreign Policy誌が、今日、こんな事を投稿しました。「イスラエルはアラブ世界の新しいソフトパワーである」そして言います。「アラブ諸国は、かつての敵との関係を深めるためにどんどん競争している」よく考えてみれば、これは驚異的です。

さて、私が今話した事は全て、これから話すことの、ほんの下準備です。もちろんメインはサウジアラビア、アラビア半島についてです。その前に、非常にエキサイティングなニュースをいくつかお伝えします。先ほど聞いたのですが、私はこれまでに3冊の本を書いています。そのうちの2冊は、2年前と1年前に発売されて、3冊目の新刊は、来月発売される予定です。しかし、なぜ私はそれを言っているのか?なぜなら、2年半前に発売された私の第一作「The Last Hour」がインドネシア語に翻訳され、世界最大のイスラム教徒の国、インドネシアの人々に提供される予定です。他の2冊の本 - 「The Day Approaching」も順調で、「Israel and The Church」は、来月発売開始です。だから私は聖書の預言とイスラエルについての本が地元の言語で読んでいただける事を、とても楽しみにしています。世界最大のイスラム教徒の国で、欲しい人は誰でも購入出来るのです。とても素晴らしいです。そのすべてに対して、主に感謝します。

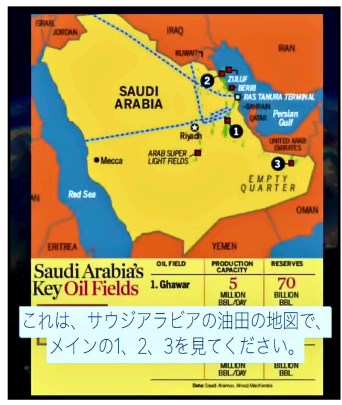


なぜなら、2年半前に発売された、私の第一作「The Last Hour」が、インドネシア語に翻訳され、



他の2冊の本 - 「The Day Approaching」も順調で、「Israel and The Church」は、来月発売開始です。

では、ここから、この数日、または1週間半ほどの間に起きた出来事を説明します。それから、私達はさらに戻ります。いいですね?皆さん、始まりは3月2日だったと思います。イエメンのフーシ派が、3月2日にサウジアラビアで弾道ミサイルと自爆UAVを使って集中砲火を開始した時、これらはブービートラップの無人航空機で、目標に到達したら爆発して、自爆するミッションを持って、3月2日、国の南部アブハの国際空港を攻撃、そして3月5日には別の空港、それから3月7日にはサウジアラビアの非常に重要な都市ジェッダにある空港を攻撃しました。それで足りなければ、サウジアラビアがイエメンでそれらのフーシ派を激しく攻撃しそれから、彼らはラス・タヌラに14機の自爆ドローンと8発の弾道ミサイルを送りました。なぜ私は、この全てを話しているのか?それは、皆さんにお見せしたいものがあります。これはサウジアラビアの油田の地図で、メインの1、2、3を見てください。これら全てが、すでにフーシ派に攻撃されています。そして、もちろん今話した飛行場は国の南部にあって、ところでアラビア半島を見たい方にはこれです。ですから、はっきりとご覧いただけるように、左のイエメンのすぐ上にアブハーがあって、アブハーに一つ、それから西に位置す

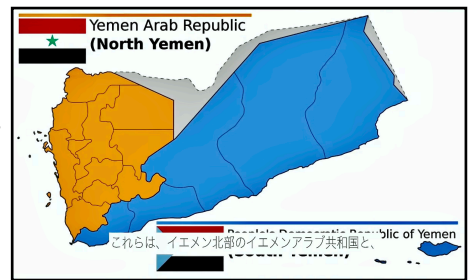


これは、サウジアラビアの油田の地図で、メインの1、2、3を見てください。



る紅海にはジェッダ市があり、そして東、一番上、カタールとバーレーンの真上に、ここは主要な油田地域の一つで、それはこのように見えます。ここはラスタヌラで、基本的に巨大な製油所と油田と石油ターミナルです。もちろん、それが石油の価格が1バレル40ドルから現在の70ドルに跳ね上がった原因ですが、それだけではありません。これも説明しましょう。現在の米政権は、フラッキング（石油・天然ガス開発）があまり好きではなくて、皆さんご存知のように、「環境に優しくしよう！それはやめましょう」だから何が起ったかという、他の石油源への米国の依存が再検討され、そして、もしサウジアラビアの不安定な地域であれば、原油価格は上がります。

さて、原油価格が上がると、石油を売りたいサウジアラビアは助かります。しかし、こんな風に原油価格が上がる事を彼らは望んでいません。彼らは、自国の安全不安のためでなく、他の理由で原油価格が上がることを望みます。ですから、私達は今、非常に興味深い事が起こるのを見ているのです。では、イエメンと呼ばれる戦争に苦しむ国に、皆さんをご案内しましょう。皆さん、理解することが重要です。この国は1900年代初頭、居住者がほとんどおらず、オスマン帝国の残りがイエメン北部に来てアデン湾がある南部をイギリス人が保護領にしました。そこには彼らの知事がいて、英国の植民地でした。その後、物事が進化します。それはやがて2つの国に進化して、1990年に統一されました。これらはイエメン北部のイエメンアラブ共和国と、そしてイエメン南部は、イエメン人民民主共和国でした。驚くのは、彼らが民主的と言うたびに、そこは民主的からは程遠い。非常に興味深いです。北朝鮮でさえ民主主義と呼び、中国でさえ自らを民主主義と呼んでいます。



さて、興味深い事に、私達は2つの異なる国を見ていて、しかし今はこの2国間の戦争の話で、時には両者の間で、時には国内で、また、私が話している戦争とは非常に多くの異なる時代の戦争で、イエメン北部では1967年の戦争があり、エジプトは大きな役割を果たして、「エジプトのベトナム」となりました。ガマル・アブデル・ナセルが、後にそれを認めています。そして1972年のイエメン戦争、1979年のイエメン戦争、そして最終的に別の戦争が1990年にある、統一に終わりました。しかし、より多くの戦争とより多くの流血があつて、最終的に2004年に国会議員だった人物がいて、彼はヤジド派でした。8世紀にさかのぼるシーア派イスラム教のもう一つの派閥です。それが驚く事に、第四のイマーム、イマーム・アリの息子ザイドにちなんで名付けられました。さて、これを見て



その為、彼らはフーシ派と呼ばれているのです。1959年生まれこの男は、46歳の誕生日を生きて見ることはありませんでした。彼は、2004年、国の北部で反乱を起こした後、45歳でイエメン治安部隊によって殺害されましたから。その後、2013年に彼の遺体が彼の家族に戻ったとき、その反乱に再び火がつき、2014年の衝突が始まって、イランの助けを多く借りて、向こうで非常に激しい戦闘が2015年に始まりました。2015年以来、イエメン北部のフーシ派に大量の武器を密輸しているのはイランです。何のために？サウジアラビアを不安定化させる為です。では、彼らはどのようにそれを行うのか？まず第一に、覚えておく必要があります。彼らは身内同士で戦っているイエメン人です。イエメンは、かなり大きいです。ご覧ください。これはイエメンの地図ですが、かなり大きいです。しかし、私達が話している戦争領域は左側だけです。南…失礼しました。北西部です。明らかに見える通り、非常に古い首都サナを含む、北の大きな塊が



フーシ派です。そして、彼らはマリブに目を向けていて…ご覧の通り、マリブはイエメンの石油のほとんどがある場所です。そして、彼らは今、そこに向かって邁進しています。なぜ、私はそれについて話しているのか?私がこれを話す理由は…皆さん、理解しなければなりません。舞台裏で、イランが武器や自国の民兵を送っている場所はどこでも死があり、戦いがあり、内戦があります、不安定さがあります。そのすべては、イランがイスラム世界を支配したいからです。それは非常に明確でなければなりません。サウジアラビアはスンニ派イスラームの母で、イスラムにとって最も重要な場所、メッカ、メディナを支配していて、イランはこれらの場所を制御したいと考えています。だから、いつものようにイランは、自分達は何もしません。彼らは彼らの代理を養い、イラクの民兵、シリアの民兵、またはレバノンのヒズボラ、ガザのハマス、もしくはイエメンのフーシ派。

ところで、イランも、バーレーンを解放したいと考えています。バーレーンには、スンニ派である王がいますが、バーレーンは、実際にはシーア派が過半数を占めています。イランは、バーレーンを、もう一つの解放したい場所として目を付けています。だから、バーレーンはイスラエルとの和平に署名したのです。彼らは、この地域で彼らを助けてくれるかも知れない唯一の首相、間違いなく、イランと戦っているのは、ベンジャミン・ネタニヤフである事を知っているのです。皆さん、これを間違えてはいけません。これを理解するのは超重要です。要するに、ここでのシーア派對スンニ派の問題です。そして、イラン人が望んでいるのは、何とかしてサウジアラビア内のシーア派少数民族に反乱を起こさせる事です。2004年、彼らはそれをする寸前でした。しかし、その後、サウジアラビアは指導者を逮捕し、彼と彼の取り巻きの多くを処刑しました。その時、イランがテヘランにあったサウジアラビア大使館を燃やしたのです。それだけでなく、彼らは2004年以来、すべての関係を断ちました。しかし、皆さんにお伝えしたいのは、皆さんが、これを理解しておく事は重要です。イエメンで今起こっていることは、すべて内戦です。はい。しかし、サウジアラビアは介入しなければならず、そして、フーシ派はサウジが介入するたびに、我々はサウジアラビアを攻撃すると言っています。だから今、方程式は、「お前が我々を攻撃すれば、我々はお前を攻撃する」しかし、サウジアラビアが止めれば何が起こると思いますか?フーシ派はイエメン全体を占拠し、それから、彼らはメッカとメディナを攻撃し始めます。そして、それが彼らの最終目標です。だから、彼らは明らかにフーシ派を爆撃していて、そして、彼らがフーシ派を爆撃したので、フーシ派は常にテロリストが行うように、彼らは民間人を人質にします。彼らは国民を飢えさせ、幼い女の子達を強姦し、恐ろしい人道的災害が、フーシ派によって、彼ら自身の国民に対して行われているのです。そしてワシントンD.C.にいるこの現政権は、誰を非難していると思いますか?サウジを非難しています。それだけでなく、彼らは前政権がフーシ派に課したテロ組織指定を解除しました。彼らは、そうすればフーシ派が行儀よく振る舞い、フーシ派は感謝すると思ったのです。いいえ、それ以来、フーシ派はサウジアラビアへの攻撃を激化させてきました。そして、皆さん、言っておきますが、彼らは間違いなく、この地域全体を不安定にしています。

さて、なぜ3日前に起こった事が重要なのか?3日前に起こった事は、基本的にフーシ派のUAV（無尽飛行機）と弾道ミサイルの範囲を広げ、サウジアラビアの陸地全体に到達するようになったのです。すべてです。イエメンから、ラス・タヌラ、バーレーンの真北の地域まで約1400km、約1000マイルです。さて、その為により多くの人が考えました。「ちょっと待って、多分、それらの弾道ミサイルや無人機はイエメンから来ていないのだろう。実際にはイラクやイランから直接来たのだ」それが起こったのは、初めてではありません。



しかし私達が見ているのは、イランが非常に巧妙で、彼らはフーシ派を武装しているのです。ところで、彼らはどのようにそれを行うのか?... 彼らは船を送ります。フーシ派はホデイダの港を支配していて…見えるでしょうかは分かりませんが、紅海にホデイダがあって、そこから彼らは紅海へ入るのです。そして、そこに来るすべてのイランの船は、そこホデイダで、すべての荷を下ろします。だから、彼らはペルシャ湾からアラブ海を周って紅海へ入り、そこで荷下ろしします。彼らにとっては非常に簡単です。そうして、サウジアラビアへの攻撃が年に一度だったのが、年に2度になって、たぶん月に一度、そして週に一度になり、現在、フーシ派は、ほぼ毎日攻撃を行っています。その為、現在、イス

ラエルがサウジとの取引に興味を示す以上にサウジの方がイスラエルとの取引に興味を持っているのです。間違ってはいけません。イスラエルは、フーシ派とサウジの間のこの戦争で、どちらの側にもついていません。我々はスンニ派とシーア派の間の戦争の、どちら側にもつくべきではありません。これは彼らの戦争ですから、彼らが戦うべきであって、私達はすべきではありません。しかし、イスラエルは、そのすべてから恩恵を受けることができます。政治的利益、金銭的利益、そしてもちろん認識。皆さん、理解する必要があります。他の誰かの戦争を戦う必要はありません。ただ彼を助け、彼らが必要なものを供給するためにそこにいることを、相手に伝えるだけです。自分達の飛行機や武器を送って、私達のもでもない戦争に介入する必要はありません。

さて、私達の戦争があります。イランとの直接戦争です。そのために、こんな事を言った世界指導者は、唯一、ベンジャミン・ネタニヤフだけです。「イランとの合意があるろうが、イランとの合意がなかるろうが私には関係ない。私が、イランに核兵器を持たせないようにする」このようにネタニヤフは、軍事オプションが検討されている事を非常に明確にしました。ここから、非常に興味深い話です。皆さん、記憶を新たにしてください。少しの間、昔の話に戻りましょう。ほら、イラン政権は交渉の達人です。彼らは常に、「信頼できる脅威」と呼ぶものがあるかどうかを見て確認します。「信頼できる脅威」とは、彼らが彼らに敵対している相手を見て、ただの口先だけなのか、あるいは言葉通りに行動する人物なのかを見極める事を意味します。そして、オバマ大統領の政権の時、彼らは、その政権が必死に取引しようとしている事を認識して、彼らは途中から彼らをすっかり騙だましました。彼らは、文字通り、全てをタダで売ったというか、タダで全てを受け入れたというか。その後誕生した次の政権は、イランに対して毅然とした態度で 厳しい制裁を課し、取引から撤退、それからまたソレイマニ将軍や、イラクのヒズボラの指導者であるアブー・マフディー・アル＝ムハンディス、ハシュド・アル・シャアビ、その他のヘビの頭を切断しました。非常に興味深いです。ホワイトハウスが4年間、口だけでなく、有言実行したのです。そして、もちろん…前政権が去る直前にこの、来る政権とイランとの間には既に交渉があって、そして、イラン人は気づいたのです。「ああ、オバマ政権の別バージョンだ」たぶん、それは同じものかも知れません。誰かさんが後ろで操っている可能性がありますから。いいですね？それから、彼らは気づいたのです。「価格を上げることができる、だませる、強気に出れる」そして今、イランはアメリカ側に言っています。「そちらが、すべての制裁を解除するまで、我々は交渉しない」以上。非常に高くつきました。

さて、「信頼できる脅威」という事に関して、皆さん、記憶をたどってください。皆さん、覚えていますか？ ペルシャ帝王が倒れ、ホメイニが1979年にイランで政権を握ったとき、イランで、米国外交官が444日間人質にとられていました。カーター政権は交渉を試みました。ペルシャ帝王を弱体化したのは、彼の責任です。帝王の側に立たず、その為、彼は逃げる事になったのです。しかし、それ以上に彼はとても弱く、起こっている事態について全く分かっていなかったので、ヘリコプターまで送ろうとしましたが、それは砂漠で墜落し、すべてが上手く行きませんでした。その後、ロナルド・レーガンがジミー・カーターに対抗して選挙に立候補し、皆さん、覚えているでしょうか。選挙期間中ずっと、彼は言いました。「私が人質の状況を処理し、イランに対応する。私は本気で戦う。私は米国が持つあらゆる力を使って、その人達を取り戻す」そして、何が起こったと思いますか？皆さん、何が起こったでしょう？皆さん、何が起こったのか見てください。1981年1月20日、就任当日、人質は444日間捕虜として過ごした後、ロナルド・レーガンが、大統領として宣誓したわずか数分後、正式に米国に解放されました。私が今言ったことが分かりますか？つまり、彼らが気づいたのです。「おっと。この人は、恐れた方がよい」そして彼らは、その場ですべての人質を解放しました。「信頼できる脅威」です。これを覚えておいてください。ところで、全世界、少なくとも世界の超大国であれば、ペルシャ湾に巨大な軍隊を集結し、イランに対して、「1週間以内に、お前達の核開発のすべてを解体しろ。さもなければ、イラン国内の可能な限り全てのインフラを完全に破壊する」もし、それをしていれば、イランは従っていたでしょう。彼らは、すべてを解体したでしょう。しかし、彼らは、それが起こらないことを知っています。実際、彼らは知っています。現在、世界でナンバーワンの超大国が非常に弱く、とても混乱していて、そして、至る所に間違ったメッセージを送っている事を。また彼らは、イラクの空軍基地にさらなる攻撃を受けて、屈辱を受けています。新たにアメリカ人が殺されたのに、何も行われていない。彼らは、これは非常に弱い行政で、自分達はやりたい放題出来ると気づきました。

ところで、もう一つの「信頼できる脅威」は…この時は、もともと脅しを意図した脅威ではありませんでしたが、上手く行ったのです。それはずっと後の事で、私が間違っていなければ1988年だったと思います。ええ、1988年です。ここで、はっきりと分かる通り、テヘラン発、バンダレ・アッバース経由でドバイ行き予定だったイランの旅客機655便が、1988年7月3日、米海軍のミサイル巡洋艦ヴィンセンスから発射されたSM-2MR 地对空ミサイルに撃墜され、航空機、エアバスA300が破壊され、乗っていた290人全員が死亡しました。ジェット機は、経由地であるバンダレ・アッバース国際空港を出発した直後通常のルートである、ペルシャ湾のイランの領海上空を飛行中に撃墜されました。なぜ私はこんな事を言っているのか？まず第一に、アメリカは、これは旅客機ではなく戦闘機だと思っていました。それは本当の間違いでしたが、ホメイニは、それが本当の間違いだとは思わず、ホメイニは、イラン・イラク戦争でアメリカが今、イラクとサダム・フセインの応援に来ていると思ったのです。そして、ホメイニは言いました。「私は、サダム・フセインと戦うことは出来るが、サダム・フセイン、それとアメリカと戦うことは出来ない」そして、イランとイラクの間の戦争は終わったのです。あれは”意図した脅威”ではありませんでしたが、イランは、「信頼できる脅威」として認識したのです。そしてメッセージが受け取られ、イランとイラクの間の戦争が、その直後に終わりました。ちなみに、こちらが、あのミサイルを発射した米国の船で、こちらは1988年に撃墜されたイランのエアバスA300です。皆さんの多くが聞いたことがないでしょうが、これは1988年の7月3日、世界中で見出しを飾った出来事でした。ほら、290人がその飛行機の中で死亡したかも知れません。しかし、何百万人もの死を引き起こした、その戦争は…ところで、それはイラン・イラク戦争でホメイニがファトワーを勧告し、子供たちを戦争に行かせたのです。彼は、子供達にプラスチック製の天国への鍵を与えて戦争に行かせ、彼らは殺されました。だから、何百万人もの人が殺されました。だから…分かりませんが、しかし290人の命が、他に非常に多くの命が奪われるのを止めたのかも知れません。私には分かりませんが、ただ私が言いたいのは、あれは、「信頼できる脅威」だったという事です。



さて、最後に聖句を2つお伝えして、締めくりたいと思います。「究極の信頼できる脅威」についてお話しします。「究極の信頼できる脅威」まず、皆さんにお見せしたいのは、私達全員が知っている通り、イランはどこにも行きません。戦争でイスラエルがイランを破壊するとか、そういった事は起こりません。聖書の中のイランはペルシャです。皆さんの中には、「イラム」と呼ばれる場所だと考えている事も知っています。イラムはイランの小さな一部だった場所であって、それは違います。イラムは小さな部分、小さな王国で、それらの預言は、すでに成就しています。イラン全体について話す時は、「ブーシェフル」というペルシャ湾の海岸の、ほんの小さな部分だけではありません。あそこは巨大な国です。そこで、皆さんに、エゼキエル38章をお見せします。中東で将来起こる戦争に関する聖句です。聖書で神は、預言者エゼキエルを通して、次のように仰いました。

**「言え。神である主はこう仰せられる。メシェクとトバルの大首長であるゴグよ。今、わたしは、あなたに立ち向かう。わたしはあなたを引き回し、あなたのおごに鉤をかけ、あなたと、あなたの全軍勢を出陣させる。それはみな武装した馬や騎兵、大盾と盾を持ち、みな剣を取る大集団だ。」**

そして、神の言葉を見てください。

**「ペルシャとクシュとプテも彼らとともにおり、みな盾とかぶとを着けている。ゴメルと、そのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマと、そのすべての軍隊、それに多くの国々の民があなたとともにいる。」**  
(エゼキエル38:3-6)

さて、なぜ私はそれを言っているのか？なぜなら、主がゴグに対する裁きを語られる時、こう仰っているのです。「あなたと、あなたに加わるすべての国は気をつけなさい」そして、ここで「信頼できる脅威」が来ます。主の言われることを見てください。神はおっしゃいます。

**「わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる。——神である主の御告げ——」**

これは同じ章の21～23節、最後の3節です。主は言われます。

**「彼らは剣で同士打ちをするようになる。わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼の率いる多くの国々の民の上に…」** ペルシャ、覚えていますか？**「豪雨や雹や火や硫黄を降り注がせる。わたしがわたしの大いなることを示し…」**

見てください。神は「イスラエルがイランと戦う」とは言っておられません。イランと戦うのはアメリカでもなく、サウジアラビアがイランと戦うのでもありません。「わたしが」と主は仰います。「わたしが、わたしの大いなることを示し…」それから、主は言われます。見なさい、わたしがこれをするのは…

**「彼らは、わたしが主であることを知ろう。」 (エゼキエル38:21-23)**

国が何かをする時は、通常、その国が手柄をとる事を神はご存知です。そして、言われます。「いいえ、誰にもそれはさせません」その戦争でイスラエルに攻めて来るすべての人、すべての国、その連合の誰もが裁かれ、罰せられます。これは「信頼できる脅威」です。皆さんに一つ、お伝えします。今、すべてのアヤトツラーに告げます。それは、あなた方がこれまで聞いた何よりもはるかに信頼できる脅威です。主はおっしゃいます。「いつものようにお前達が同士討ちをし、血を流すだけでなく、わたしは、彼と彼の部隊と、彼の率いる多くの国々の民の上に、彼ら全員の上に、豪雨や雹や火や硫黄を降り注がせる」そして聖書は、これらを破壊する恐ろしい地震についても記録しています。そしてもちろん、その全ては神が誉れと栄光を受ける為です。だから私は、本当に…私は恐れていません。まず第一に、ありがたいことに、主は現時点で、私達に素晴らしい指導者を与えてくださっています。そして私はネタニヤフが継続する事を祈ります。他の候補者は、現在の米国政権に同調する事を願っていて、そして、彼らはリベラル、彼らは革新派で、イスラエルは彼らを望んでいません。実際、私が思うに、明日のアラブ首長国連邦と、多分サウジアラビアへ立ち寄り旅は、ネタニヤフが権威を維持するためのアラブ首長国連邦とサウジの働きでしょう。彼らは選挙運動で彼を助けたいのです。他のオプションは全て、彼らにとって非常に悪い事を彼らは知っていますから。皆さん、言っておきます。

**「ある者はいくさ車を誇り、ある者は馬を誇る。しかし、私たちは私たちの神、主の御名を誇ろう。」**  
(詩篇20:7)

そして、最終的に…このエゼキエル戦争のすべての悲しい部分は、神が自分自身を現され、そして、その直後に何が起こるかと言えば、イスラエルはメシアニック時代を楽しみ…”メシアニック”、反キリストが登場すると、彼らは彼が救世主であると思います。「ほら、繁栄がある、平和がある、エルサレムには神殿が建っている。これだ！」そして彼らは、誤ってエゼキエル戦争の神の本当の勝利を、敵からの欺きすべてと結び付けてしまいます。そして、唯一、反キリストが神殿に入り、自身を神として宣言した後、その時、ユダヤ人は、それが間違いであったことに気づくのです。「絶対に、この人物を我々の世界の指導者として信じてはいけません！」

もう一つ、これで締めくくります。唯一、その時になって獣の印が導入されるのです。なぜなら、世界が彼を拝みます。彼は世界に現れ、世界は、これまでに見た事もないような人物を見ます。なぜなら、彼は海から来る獣です。彼は知られていない人物です。彼は陸から来る、もう1匹の獣ではありません。彼は新しいものです。誰も彼を見たことがありません。彼は来て、全世界が…ほら、今日の世界の指導者で、これに一致する人を見たことがありますか？もちろん、現在の世界の指導者の中には一人もいません。また言っておきますが、さらに混沌とし、多くの混乱と欺瞞が起こって、この世を激しく破壊します。その人物が登場すると、世界は彼にひざまずき、人々は彼を拝みます。彼らは彼を拝むのです。商業以外に、崇拜の行為



として、それが獣の印のすべてです。だからこそ、印を受ける人は誰も救われないのです。その人が獣を拝むから。それは礼拝の行為です。その人はイエスを拝まず、イスラエルの主である神を拝みません。その人は反キリストを拝み、ある種、生まれ変わったサタンを拝みます。だからこそ…重々気をつけてください！今起こっていることは、何一つとして獣の印に結び付けてはいけません。獣の印は別の話ですから。私達が未だかつて見たことのないような時代に、人間を拝むのです。

私達は、以前にもこの世界でパンデミックを見ています。これも同じです。もちろん、全世界がその方向に進んでいます。もちろん、私達にはこれの向かう先がはっきりと見えます。しかし、関係ない用語を使用しないでください。「ああ、今はホロコーストだよ！」なんて言う人達があります。「ダビデの黄色い星！」「強制収容所！」ナンセンスです！ホロコーストの生存者の所に行き、聞いてみてください。現在、起こっていることの、どれか一つでもホロコーストで起こったことに近いものがあるか。もちろん、ありません。600万人が虐殺へと導かれ彼らは、ガス室でガス殺されました。彼らは森の真ん中で自分の墓を掘った後、軍隊によって殺されました。そっちに行かないでください。ホロコーストをチープにしないでください。そして人は思うのです。「ああ、今日私達が経験している事が、ホロコーストのようなものなら、ホロコーストは、それほど大したことではなかったんだ」いいえ。私を信じてください。ホロコーストとは似つかぬ日が来るでしょう。それは、ホロコーストよりもずっと酷いのです。それはもちろん、ダニエル12章1-2節が告げている事で、それが大患難です。そして大患難は、イスラエルとももちろん全世界の人々を襲う、史上最悪の時になります。選ばれた者達、イスラエルとその時に救われた人々がいなければ、イエスがマタイ24章でおっしゃったように、「ひとりとして救われる者はないでしょう」ですから、はい、私達は何が起こっているのかを見えています。しかし物事を混乱せず、物事を誇張せず、物事をセンセーショナルにしないでください。それは非常に、非常に危険です。いいですね？我々はコースにとどまる必要があります。そして、私達の祝福された希望は差し迫る携挙で、主の元に行く事です。ええ、それがすべてです。

皆さん、テレグラムで私をフォローしてください。私は毎日更新しています。それから、私達のウェブサイトからニュースレターを登録してください。そしてユーチューブ、フェイスブック、インスタグラムは、「Behold Israel」ご覧いただき、ありがとうございました。最後は、アロンの祝福で締めくくりたいと思います。

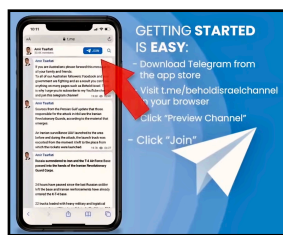
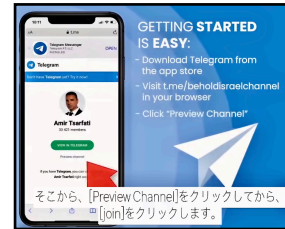
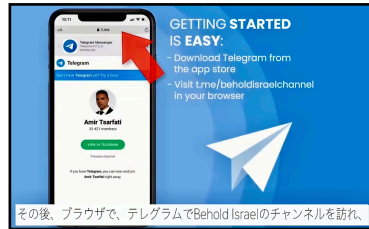
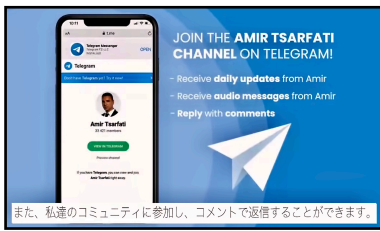
**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』(ヘブル語/民数記6:24-26)**

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』(英語/民数記6:24-26)**

平和の君にしか与えることが出来ない平安シル・シャローム、イエシュア・ハマシアハ、主の御名によって祈ります。アーメン。

ありがとうございました。  
God bless you!

もう一度、テレグラムでフォローする方法を、お見せしたいと思います。テレグラムで、アミール・ツアルファティとBehold Israelに参加しましょう。ここでは、アミールから毎日の更新やオーディオメッセージを受信します。また、私達のコミュニティに参加し、コメントで返信することができます。始めるのは簡単です。APPストアからテレグラムをダウンロードし、その後、ブラウザで、テレグラムでBehold Israelのチャンネルを訪れ、そこから、[Preview Channel]をクリックしてから、[join]をクリックします。それだけです。テレグラムでお会いしましょう。




[Join]をクリック



完了



👉 スマートフォンなどのカメラで読み込むと、YouTubeのメッセージが見れます。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>  
 ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>  
 2021.03.24 (Wed)